



SERVE TO CHANGE LIVES



クラブ会長ターゲット
「ロータリアンとしての成熟」
"REACH MATURITY
AS A ROTARIAN"
2021-2022年度
東京臨海ロータリークラブ会長
佐藤 大輔



国際ロータリーテーマ
「奉仕しよう みんなの人生を
豊かにするために」
"SERVE TO CHANGE LIVES"
2021-2022年度
国際ロータリー会長
シェカール・メータ



衛星クラブ議長ターゲット
「クラブライフを楽しもう」
"Enjoy club life"
2021-2022年度
東京臨海北斗ロータリー衛星クラブ議長
坂本 康朋

2022年3月16日

東京臨海 RC 【第1232回例会】
東京臨海北斗 RSC 【第41回例会】

東京臨海RC

創 立：1994年8月8日
会 長：佐藤 大輔
副 会 長：杉浦 孝浩
幹 事：勝間田 健一
プログラム
構成委員長：田中 紘太
(会報担当)

東京臨海北斗RSC

創 立：2020年12月18日
議 長：坂本 康朋
副 議 長：小松 啓祐
幹 事：勝間田 健一

3月16日の卓話

- 1) 「イニシエーションスピーチ」
- 2) 「バギオ基金について」
東京臨海RC会員
一般財団法人比国育英会バギオ基金副会長
斉藤 実様

3月30日の卓話

「国際奉仕部門フォーラム」
総合担当：
国際奉仕委員長 柴田 剛様

《2022年3月8日ハイブリッド例会報告》

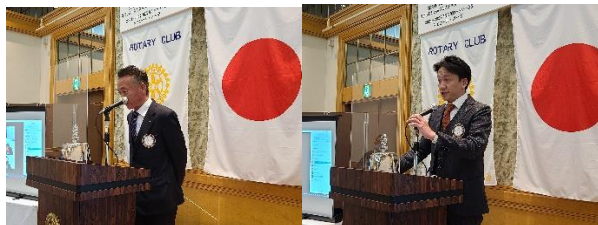
東京臨海 RC 第1231回
東京臨海北斗 RSC 第40回

司会：村社会員

- 点鐘：東京臨海 RC 佐藤大輔会長
東京臨海北斗 RSC 坂本康朋議長



- ロータリーソング斉唱「我等の生業」
：ソングリーダー：今井会員
- 「四つのテスト」斉唱（歌）
- 「ロータリーの目的」東京臨海 RC 抜萃 Ver. 唱和
：杉浦副会長



- 来賓・ゲストスピーカー紹介：佐藤大輔会長



- ゲストスピーカー 須藤宗之助様（当クラブ会員）
" 入澤昭彦様（当クラブ会員）
米山奨学生 レー・クオック・アン様（ZOOM 出席）
- ビジター紹介：寺田雄司会員
工藤義孝様（入会希望者）

- 3月のお祝い：井上 SAA 委員長



東京臨海北斗 RSC の奥様誕生日祝は、昨年の2月より今年の1月までの1年間、奥様誕生日祝いのプレゼントとして花束を贈っておりましたが、理事役員会の決定に沿って、今年の2月から花束のプレゼントではなく例会場での発表のみに変更しました。

◆会員誕生日

臨海 RC：酒井教吉会員、田中紘太会員

北斗 RSC：沖政喬士会員



◆奥様誕生日

臨海 RC：高吉泰尋会員夫人

北斗 RSC：関口満博会員夫人、吉田大作会員夫人

◆結婚記念日

臨海 RC：佐藤正樹会員、佐藤大輔会員、田中紘太会員、

内海真樹会員、山田晃久会員

北斗 RSC：濱田信孝会員、橋本郁会員

◆出席100%

臨海 RC：該当者いらっしゃいません。

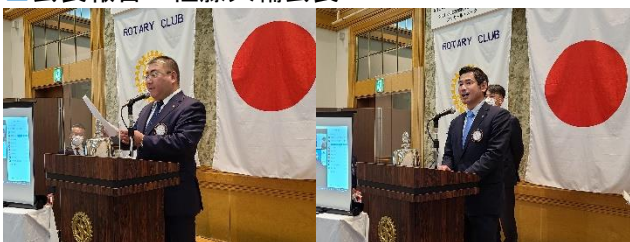
北斗 RSC：該当者いらっしゃいません。

◆「誕生日の歌」：ソングリーダー：今井副委員長



◆1分間スピーチ：田中会員

■会長報告：佐藤大輔会長



・入会式

東京臨海RC新会員：畠山孟賛様



職業分類：産業廃棄物処理業

推薦者：大西洋平会員・白井正三郎会員

カウンセラー：齊藤実会員

所属委員会：親睦活動委員会

・一般財団法人比国育英会バギオ基金より、感謝状が届いておりますので贈呈致します。

第75回感謝状：齊藤実会員

第9回感謝状：入澤昭彦会員



■幹事報告：勝間田幹事



・国際ロータリー第2580地区若林ガバナーより、トンガ王国海底火山大規模噴火への支援金のお願いが届きました。可能であれば一人1,000円以上のご支援をお願いしたいとのことです。会員皆様にご協力をお願い致します。2022年1月15日に、トンガの首都ヌクアロファの北約65kmに位置する海底火山「フンガトンガ・フンガハアパイ火山」で大規模な噴火が発生し、それに伴う地震や津波が確認されました。住宅の倒壊、津波、降灰による飲料水の汚染が深刻で、トンガに暮らす方々が多大な影響を受けていると推定されます。

今回の支援金は、第2580地区経由で、トンガが所属する第9920地区の同じ第9920地区のニュージーランドに送金し、緊急対応キット（各600ドル）を寄贈する活動に活用頂くこととなります。募金箱を回しますのご協力よろしくお願い致します。

・ロータリーの友3月号をメールボックスに配布しました。

・ガバナー月信3月号は、3月1日会員皆様へメール送信致しました。

・3月の理事役員会は、本日例会後、3階「松桐の間」で開催致します。

・3月のロータリーレートは、1ドル=116円です。

■委員会報告

・国際奉仕委員会（柴田委員長）



①第43回バギオ訪問交流の旅は、2022年5月12日（木）～15日（日）の3泊4日の日程で行われることになりました。旅行の詳細を3月4日に会員皆様へメール送信させて頂きました。

参加頂ける方は、2022年3月25日までに、(株)エス・プランナー様へ申込書を送付下さるようお願い致します。

②第19回ロータリー全国囲碁大会は、2022年5月14日（土）に開催されます。詳細は掲示してありますのでご覧ください。

・青少年奉仕委員会（本多委員長）



国際ロータリー第2580地区ローターアクト第53回地区年次大会が2022年5月7日（土）13時30分より、タワーホール船堀 またはオンライン配信の視聴という形のハイブリッド形式で開催されます。登録料は、現地参加：10,000円、「オンライン視聴」または「登録のみ」は2,000円です。登録頂ける方は、臨海RC事務局宛お申込みください。臨海RC締切は2022年3月16日です。

■出席状況報告：福田会員



（ハイブリッド例会・まん延防止等重点措置期間）

東京臨海RC

会員数：61名

出席：38名（例会場：36名 ZOOM：2名）

欠席：23名

出席率 64.41%

東京臨海北斗RSC

会員数：21名

出席：9名（例会場：2名 ZOOM：7名）

欠席：12名

出席率 42.86%

■ニコニコBOX報告：伊佐委員



（ご意向）畠山さん、入会おめでとうございます。ロー

タリーライフをお楽しみ下さい。：佐藤会長、杉浦副会長、勝間田幹事、大西会員、吉成会員

（ご意向）本日、イニシエーションスピーチをさせて頂きます。宜しくお願い致します。：須藤会員、入澤会員

（ご意向）大学院を卒業できる事となりました。様々ご迷惑をお掛けしました。皆様本当に有難うございました。：井上会員

（ご意向）子供、産れました。：高橋会員

（ご意向）須藤さん、入澤さん、イニシエーションスピーチ宜しくお願いします。：斉藤会員、今井会員、村社会員、柴田会員、佐久間裕章会員、福田会員、寺田雄司会員、濱田会員、酒井会員、秋田会員、伊佐会員、小松啓祐会員、米衛会員、内海会員、本多会員、渡辺会員、坂本康朋会員、田中会員、栗山会員、今会員、小松靖教会員、諫山会員

（ご意向）こんにちは。本日もよろしくお願い致します。：太田会員、小田桐会員

【31件 62,000円 今年度累計 1,195,000円】

■卓話（紹介者：プログラム担当 太田委員）



「イニシエーションスピーチ」

東京臨海RC会員 須藤宗之助様



皆さん、こんにちは。いつも、大変お世話になっております須藤です。このクラブでの一番の年長ということで、皆さんから色々とお励ましていただいたり、また、助けられております。私が入会した当時は、上にも下にも結構いらっしゃったのですが、今現在、江戸川クラブ全部の中で私が一番の年長です。本当に私自身が驚いています。いつの間にこうなったのかなと思って、何かちょっと驚愕しておりますけれども、これをまた、時の流れで仕方がないという風に思っております。

このクラブも創立しまして、順調にはいっていたのですが、最初は33名で始まり、一時は62名までいきました。ところが、平成10年、ちょっと不祥事がありまして、それで多くの方がお辞やめになることがあり、本当に大変でした。その時、支えていただいた斉藤さん、大澤さん、鈴木さん、佐久間栄一さん、田村さん、本当にありがとうございました。この方たちがいなか

ったら、うちのクラブも、おそらく崩壊してたんじゃないかと思えます。5月になりまして、次期会長が決まっていなくて、問題を解決しなければ、次期会長は受けないという話になりまして、斉藤さんはじめご苦労お掛けして申し訳なく思っております。このクラブを支えていただいた皆さんに本当に感謝をいたしております。事務所の佐藤さんにも、以前3人も事務員が居た時期もあるのですが、すぐ辞めてしまうということが続き、今の佐藤さんが来てくれました。そのあとは、おかげさまで立派な事務局が確立されありがたく思っております。皆さんの力添えもあったことでしょう。

私が、今一番残念だなと思うのが、当時、皆さんで年がら年中、3代目の高松会長のお宅へ遊びに行って、ジャズやるとか、桜を見る会とか、年がら年中なんです。それで、広場に紹興酒、お酒もいくらかあるんですね。かめで置いてあって勝手にみんな飲んで。でも、今の方々はあの雰囲気味わえないということで、そこがとても、私は残念に思っております。皆さん方も、あのときに入会していれば、あんな思いができたんじゃないかなと思っているのですけれども、これもまた時の流れの中で仕方がないことなのかなと思えます。

色々ありましたけれども、明後日は、東京大空襲のあった日ですね。約10万人の人が亡くなったといわれます。今、ウクライナで大変な戦争が起きまして、避難民がいっぱい出ております。私も、3月10日の空襲に、この錦糸町まで来たんですね。そして、この向こうの錦糸公園のあの辺は死体の山です。この辺だっすごいですよ。死体の山で。それが、今ちょうどウクライナで行われてますよね。皆さんが難民でぞろぞろ歩く姿、これ見ましたら、本当に戦争ってのはむごいんだとつくづく思えます。10日の日に空襲がありまして、15日になりまして、小松川の橋の上を、焼けたりヤカー、もちろんタイヤなんか付いてないんですね。ガラガラガラ、荷物なんか乗っけて、皆さん千葉のほうに行くんですね。あの姿が今のウクライナの姿じゃないかと思えます。皆さん方もいろいろあると思えますけれども、戦争には絶対反対ということで貫いていたのであればありがたいと思えます。

私も、うれしかったこと、悲しいこといろいろありました。うれしいことといいますと、15年ぶりに、別れた兄弟に会いました。いろんな事情がありまして、実家がつぶれまして、東京へ来て、乞食して歩いて。それで、私は今の須藤にもらわれまして。それで、兄弟どうしたかと思って随分いたのですけれども、15年ぶりに再会することができました。それが、一番うれしいことでした。

それで、一番つらかったこと。それは、終戦の前年。昭和19年11月10日。治安維持法で私は捕まりまして、特高に。今のロシアでも時の政権に反対する人、それはもう受け入れられないということで、結構捕まりますね。ちょっとしたことで捕まっちゃうんですね。私なんかも動員されてまして、同じ職場に朝鮮の徴用工がいたんですね。彼たちが、ちょっとむごい待遇受けてるんで、待遇改善ということで訴えたところ、私とあと2人、3人捕まったんですが、そのときに、結

局、特高に捕まりまして、それこそ、今の市川に、市川建設があって、その裏に特高部屋があったんですね。あそこに連れていかれて、時代劇に出てくる水戸黄門なんかのとき、よく手足結わかれて水掛けられるシーンがありますが、同じように11月の末に手足結わかれまして、本当にもう死ぬと思いました。だけれども、なんとか生き延びて、本当によかったなど今思っております。ですから、その後色々なことありまして、ちょっとしたことから国家褒賞ということで、お声がかかりましたけれども、私は国に対する反逆者だということで辞退いたしました。本当に自分の信念を貫くっていうか、私もやっぱり、いいことはいい、悪いことは悪い。ですから、今考えてみますと、あのとき治安維持法で捕まったのも私にとっては、絶対に間違ってた。国家に対する反逆ではあったけれども、私は違っていなかったと自負しております。本当に、世の中は大変なことが多いと思えますけれど、やっぱり皆さんは、自分の意思に従って、そして人が何と言おうと自分の意思を貫いてほしいと思えます。

先日も、友達らと会合しまして色々な話したんですけど、この前もお話しましたが新幹線なんですね。今の新幹線は、なんでできたか。最初は、予算が2,500億だったんですよ。ところが、5,000億になっても、まだできないということで、佐藤内閣から叱咤されまして、時の総裁、十河信二さんが、泣く泣く辞めさせられたんですね。私も、十河さんと親しくしていたのでいろいろ聞かせられましたけれども、本当に無念だと言っておりました。それで、開通の日、あの方は呼ばれないですよ。あれだけ骨折ったのに。これは、やっぱりちょっと違うんじゃないかと思うんですね。それで、その時に、一緒に島という技師長がいるのですが、その方も、やはり報われず呼ばれなかったんです。あんなに骨折ったのに。ところが、7~8年前、JR東海の小島社長さんが、日本経済新聞に、私の履歴書、あの中で十河さんと島さんがいなかったら新幹線はできなかったら。そういうのを見まして、私もほっとしました。それで、十河さんから、私も時々お会いしたものですから、書いてもらったんですね。「汝の道を歩め、そして人々をして言うにまかせよ」と。私は十河さんを本当に信頼しておりますし、偉い人だと思います。やはり、ああいう方がいて、初めて新幹線ができた。あの当時は、空気として、これからは飛行機の時代。そして、またはモータリゼーション。自動車の時代だと。列車なんかもう古い。前代の異物だと一時いわれたんですね。でも、今はどうですか。皆さん、こんなに素晴らしい新幹線にお乗りになっていろいろと癒されてるじゃないですか。よかったですよ。先見の明あるっていうか。人が何と言おうと自分の意思を貫く。私は人はそうあってほしいと思えます。皆さん方も、これから、いろんな局面があると思えますけれどもね。絶対に自分の意思を曲げず。

だけれども、鈴木さんが言ってるように、全部討論し、全部喧嘩しちゃったら、おしまいだと。2分残せと。本当にそうなんですよ。2分残さなくちゃいけないんですよ。喧嘩するのでも2分残しますと、その人がやが

て、やはり軍門に下って鈴木さんがおっしゃるように、その人が、自分の手下になるんですよ。ですから、昔から、日本でもいわれてますよね。村八分、全然もう相手にしない、付き合わない。だけど、葬式と火事だけは手伝うと。そういう、やっぱり局面を人間の知恵ですね。つくったのですね。私はそれを見まして、人間っていうのは、そんなに究極、もろいものでもあるけれども、いろいろ考えてんだっていうふうにも思います。

皆さん方も、若いですね。若いんだったらいいんですよ。若いと、苦しみ、悲しみを喜びに変えられるんですよ。それが、ヤングマンですね。年取りますと、はあ、年だということで、自分をそれなりに認めて、そして、自分で心の中に納めて、それで、もう駄目だと。私なんかもう足腰が弱りました。だけれど、皆さん、希望を持たなくちゃいけないんですよ。さっき、会員の尾身さんに話したんですけども、議員で40過ぎて独身で私も結婚したほうがいいよと言ってた方がいて、そうしましたら、おととい一緒にご飯食べようというんで、奥さん連れてみえたんですよ。それで、その議員さんは、高卒なんですね。けれど、奥さんは東大卒の弁護士さんなんですよ。びっくりしました。でも、彼も一応言ってるんですよ。俺は、やっぱり目指すものがあるんだと。皆さんも、これから先が長いんだから、絶対に目指すところを持って、あまり自分の中にこもっちゃいけないんですよ。味方千人敵千人。味方がいると思っても、敵がいっぱいいるんですよ。けれど、その中で、自分の信頼性を貫いて、そして、人間的に、やっぱり素晴らしい人生を皆さんにも送ってほしいと思います。

臨海に、皆お入りになって、本当に私よかったですと思います。私のような者がこうして、この場をつくっていただいて、本当に感謝しております。皆さんも、これから、私はいつも思うんですね。この、臨海に入る前、私は20年間、それこそ日本のトップの方や最高裁の長官だとかをやった方が入る会。そこに、20年間ちょっと置いてもらいましたので、いろいろなことを勉強させてもらいました。でも、人間すべて一緒です。俺より偉い人はいないんだという気持ちの中で、皆さんも、自分を絶対卑下しないで。俺はこうだけれども、やっぱり次に、自分の心構えていいですか。自分の生きざまはこうなんだってことは、皆さんに、私はしっかりと心の中に置いていただいて、そして、次の日を目指して、また、未来目指して生きてほしいと思います。「思うことを貫かん、日を増すほどに、月日は長き物にぞありける。」ご清聴ありがとうございます。

東京臨海RC会員 入澤 昭彦様



皆さん、こんにちは。入澤昭彦（いりさわあきひこ）と申します。私には特別なことがあるわけでもなく平凡な者ですけれども、ご指名ですのでしばらくの間、お話をさせていただきます。

私は、このクラブに入会させていただいて14年になります。クラブの歴史からいえば中堅と言ったところですよ。年齢は62才です。職業は司法書士をしております。新小岩の駅の近くで開業して35年になります。

それでは、時系列に沿いまして、自己紹介をさせていただきます。生まれは、群馬県片品村で県の中でも最北端の山の中のド田舎です。尾瀬に行ったことのある方もおられると思いますが、その近くです。雪が降りますので、小学校の体育の授業のなかにスキーがあり校内スキー大会などもありました。中学の時は、部活で卓球部に入り3年間卓球をやっておりました。団体戦で郡大会3位がやっとでした。高校の時は自宅から沼田市まで通えなくもなかったのですが、親が借りた学校近くのアパートで自炊生活でした。高校の先生の親の経営するアパートで大家さんと同じ敷地にあり、いつも見られていて悪いことはできませんでした。大学時代は、目黒の西小山に3畳のアパートを借りてそこから通学しました。部活は、4年間、書道研究部に所属しました。3年の時、40人程度のクラブでしたが部長を務めました。書道は小学生のころから続けていますので、数少ない趣味の1つです。学生の時、中国の古典の流れを受け継ぐ流派の書家に習いまして、面白くなり練習に没頭しておりました。今は数年に一度の展覧会に作品を出品する程度です。大学卒業後に、学生時代から司法書士になることが目標でしたのでそのまま千葉県市原市のある司法書士事務所に見習いで入所しました。とても忙しい事務所で国家試験の勉強の時間もあまりとれませんでした。運転しながら眠くて、縁石に乗り上げて、冷としたことが何度もありました。試験科目が10科目以上あり合格率3パーセントの国家試験ということで、集中して勉強する必要性を感じ、事務所をやめ無職で勉強に専念することとしました。貯めていた貯金も底をついたときは、親をたよって相談に行き援助してもらいました。3度目でようやく試験に合格することができました。その後、赤坂の事務所に有資格者として1年間務めた後、28才のとき現在の地に事務所を開業しました。昭和62年はまだ景気の良いころで、開業の挨拶周りをしてただけで信用金庫や信用組合、当時の相互銀行などでメインとしてはなかったですがサブの仕事をしていただくことができました。

この業界は、強制入会主義で、司法書士会に入会しないと業務を行えないことになっておりました。東京司法書士会に入会いたしました。司法書士会は地域ごとに支部を構成しておりました。入会后15年くらいして葛飾区と足立区からなる城北支部の支部長を2期4年務めました。支部長の時は、内容の古くなった支部規則などを最新の内容に改定する作業などに取り組みました。

司法書士の業務に関しましては、35年の間に業務の範囲が広がってきております。当初は不動産登記、商

業登記の手続き代理と裁判所提出書類の作成が主でしたが、その後に簡易裁判所の訴訟代理や成年後見人関係業務、遺産承継業務なども行うようになっております。

支部長の任期を終えた後くらいに、大学の先輩で同業でもある臨海東の中川さんから、パーティーがあるので出席してみないかと誘われ当クラブの忘年家族会に参加させていただいたのが最初です。その後、例会の参加を経て、当クラブに入会させていただきました。何もロータリーのことはわかりませんでした。が、例会や行事、バギオ訪問、台湾姉妹クラブ訪問、国際大会などできるかぎり参加して経験をできるようにしてきました。特に、思い出深いのは、ロータリー財団の地区補助金を申請して、おなかをこわしてしまうような水しか出ないフィリピンの小学校に浄水施設を設置するプロジェクトを2年がかり行った活動です。今は、ロータリー活動を通してたくさんのことを教えていただき、幅広い年代の友人もできロータリーが楽しくなってきました。

最後になりましたが、できれば長くロータリー活動が続けられればと考えておりますが皆さまには末永くお付き合いいただきたくよろしく願いいたします。ご清聴ありがとうございました。

■点鐘：東京臨海 RC 佐藤大輔会長
東京臨海北斗 RSC 坂本康朋議長



米山奨学生レポート

氏名：レー、クオック アン

テーマ：これまでの奨学生の生活で得たものや、日本留学の成果などについて

内容

三月は別れや新しい出会いの季節だし、人々が卒業したり、新しい学校に入学したりしている人がいます。この期間で、人生の新しい展開に言えると思います。この時で私自身も色々なことも遭いました。例えば、恋愛、友達、将来のことを色々に振り返ることができました。

前学期は24単位を取っていましたが、もし問題がなければ、来年ではあと4単位しか卒業できません。その間に、就活や大学院の進学を少しやっています。色々なことを考えなければなりません。少しストレスを感じていますが、やはり、おばあさんがいう通り、ストレスがあれば、今頑張っているだということです。

一年間東京臨海 RC でお世話になって、とても楽しかったです。初めて自分の招待式を出ることがないです

が、東京臨海 RC では私のためにやってくれました。そこで、自分のストーリーやなぜロータリー奨学金になりたかったかなどをシェアすることができました。その上、他のロータリアンの話を聞くことができました。特に、会長の話が一番印象に残りました。なぜロータリーが設立されたかということ、世界的な人脈づくりのためです。例えば、会長の友達もロータリアンであり、以前はブラジルからのロータリー交換留学生を家に泊まらせて、そして、たくさん日本のことを教えました。そのあと、あの人の子供がブラジルに留学の際は、縁も言えると思います、ちょうど前に受け取ったブラジルの留学生の家族でした。世界は私たちが考えたより狭いと思います。その話で、人間関係の大切さをわかりました。これからも、自分はたくさん出会いを増やして、困っている人々に手を出したいと思います。

最後ですが、この一年間、米山ロータリー奨学生になり、誠にありがとうございました。来年も明治大学の模範学生になるように、日々努力してまいります。ご支援いただいているすべての方々に心から感謝いたします。